

1. 実施概要

(1) 調査目的

第3次鎌倉市総合計画第4期基本計画の進捗に伴う効果を測ることを目的として、無作為に抽出した鎌倉市民2,000名に対し、アンケート調査を実施しました。
アンケート調査の実施概要は、次のとおりです。

(2) 調査概要

【調査対象】

令和4年（2022年）1月1日時点で住民基本台帳に記載されている満18歳以上の市民の中から、無作為に抽出した2,000名

【調査内容】

- (1) 回答者属性
(性別、年齢、職業、居住地区、居住年数、家族構成、頼れる人の有無 等)
- (2) 平和・人権意識について
(「鎌倉市民憲章」「平和都市宣言」の認知、人権尊重に関する実感、多文化共生に関する実感、外国人の住みやすさ 等)
- (3) 文化について
(文化活動に関する実感)
- (4) みどり・都市景観について
(自然・自然的景観に関する実感、屋外広告物への制限の認知、歴史的遺産・文化の保存継承に関する実感)
- (5) 生活環境について
(マイバッグ・マイボトルの使用有無、まちの清潔さ、快適さに関する実感、省エネを意識した電力使用の有無)
- (6) 健康福祉・子育てについて
(共生社会実現に関する実感、相談できる人・場所の有無、かかりつけ医の有無、子育てに関する実感 等)
- (7) 生涯学習・スポーツについて
(生涯学習活動・定期的な運動の実施の有無)
- (8) 防災・減災・危機管理について
(地域の自然災害リスクの認知、危機管理に関する実感)
- (9) 市街地・交通環境について
(まちづくり・市街地に関する実感、交通環境に関する実感)
- (10) 産業・労働環境・消費生活環境について
(商店街に関する実感、希望する職場への就労、仕事と生活のバランス、サステナブルレベルへの認知、経済・社会。環境に配慮した消費行動の有無)
- (11) 今後の居住意向
(これからも鎌倉市に住み続けたいか)
- (12) 鎌倉市政に関する自由意見

【調査方法】

郵送配付・郵送及び電子申請による回答回収

【調査時期】

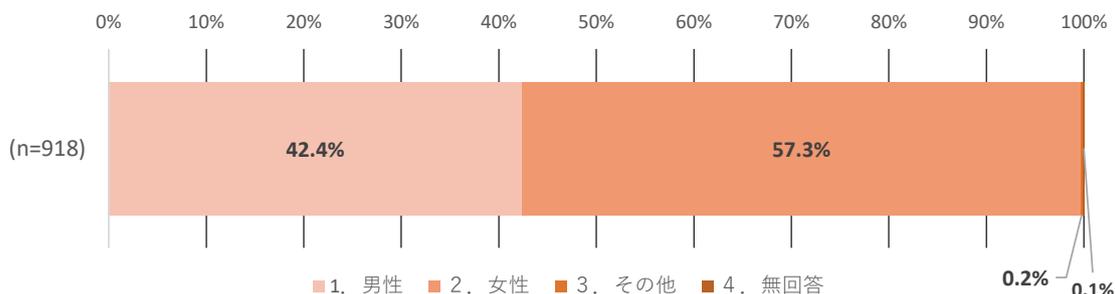
令和4年(2022年)4月15日(金)～令和4年(2022年)5月2日(月)

【回収状況】

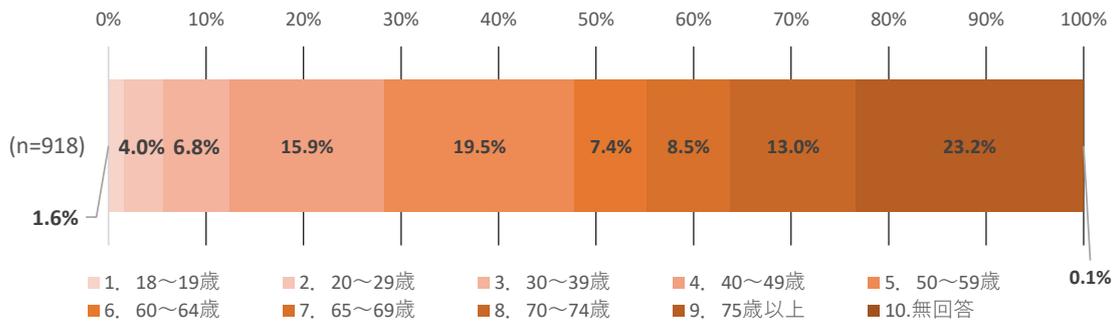
918件(郵送647件、電子申請271件)／2,000件(回収率45.9%)

【回答者属性】

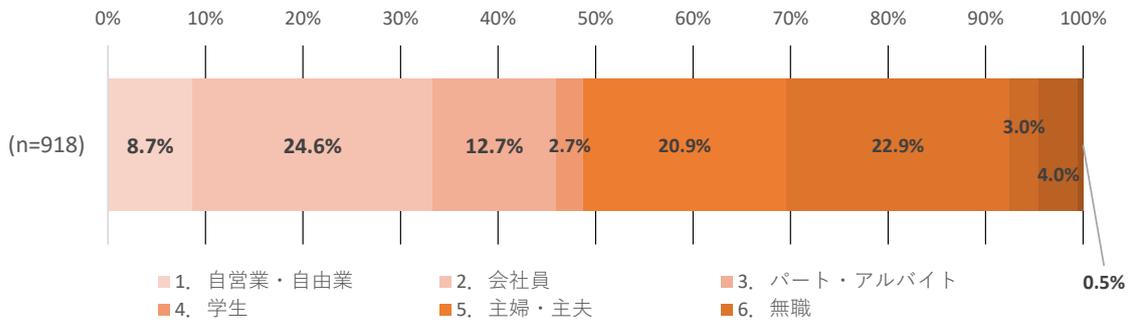
問1 あなたの性別を教えてください。(1つ)



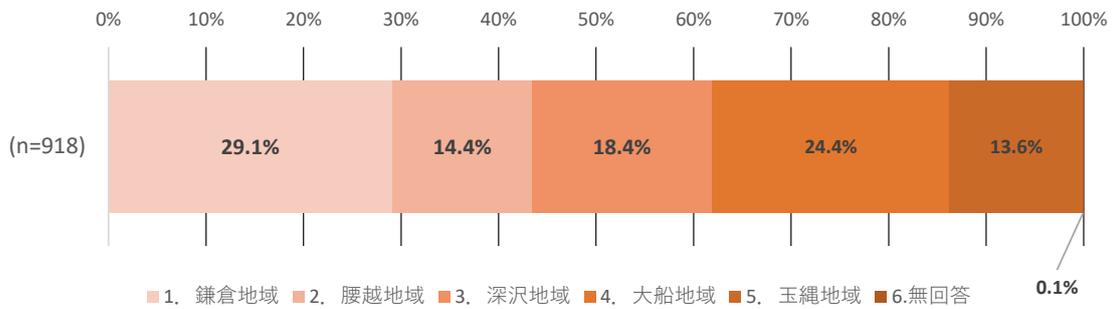
問2 あなたのご年齢を教えてください。(1つ)



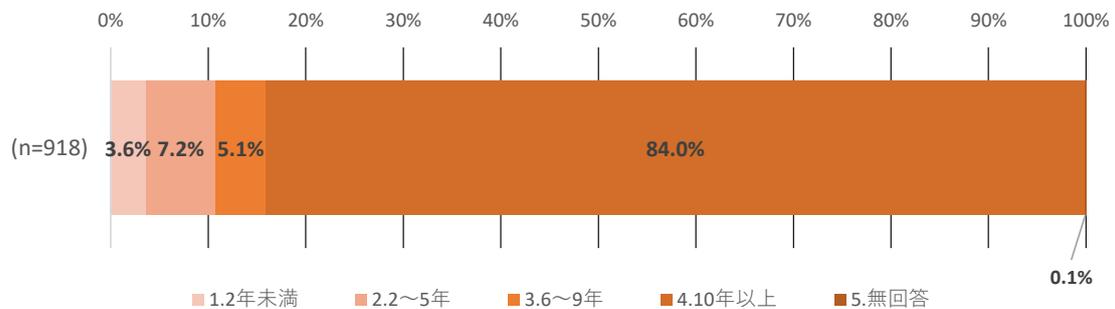
問3 あなたのご職業を教えてください。(1つ)



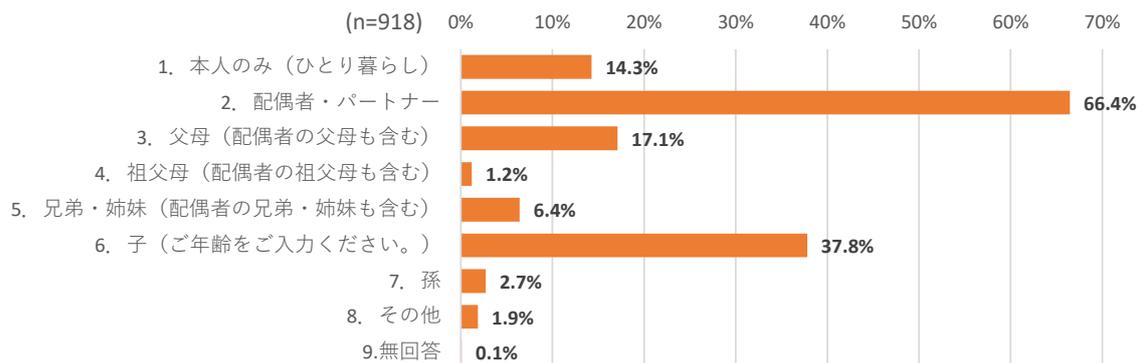
問4 あなたのお住まいを教えてください。(1つ)



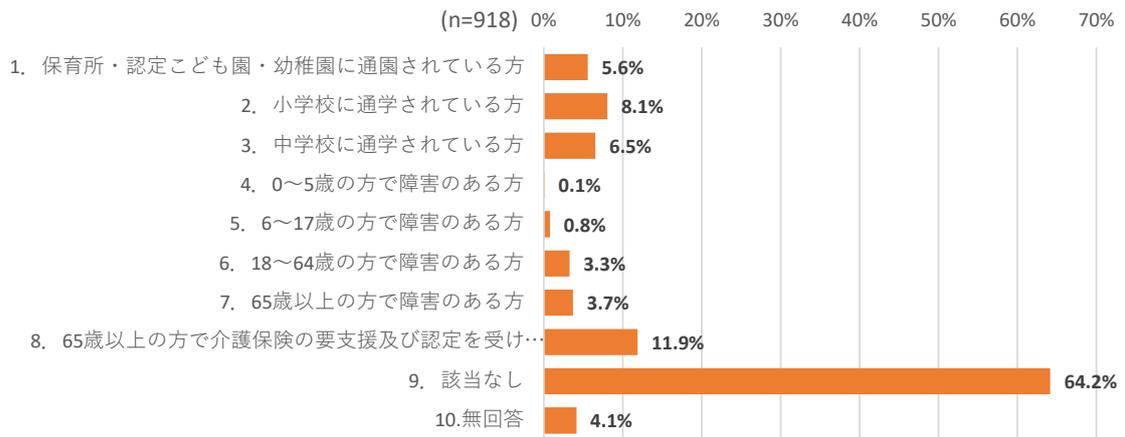
問5 鎌倉市にお住まいの期間を教えてください。(1つ)



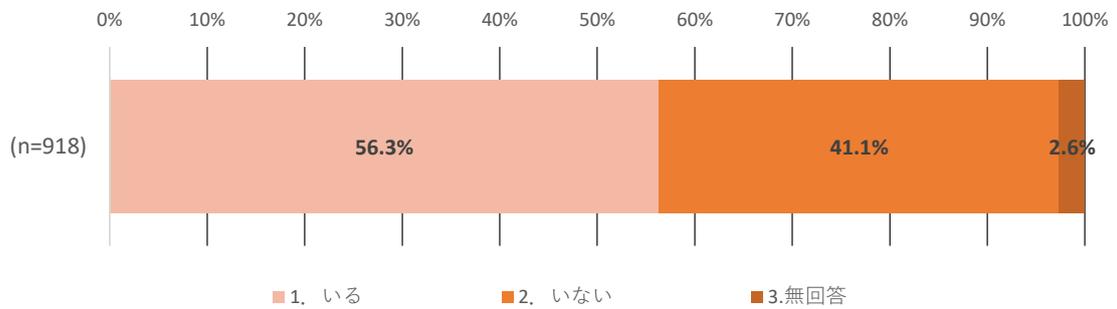
問6 あなたの世帯について、教えてください。世帯に含まれる方を全て選んでください。(複数回答可)



問7 あなたご自身、またはご家族の中で次の方がいらっしゃるか教えてください。いらっしゃる場合は、すべてに○をつけてください。(複数回答可)



問8 同居はしていないが、身近に頼れる方が居住されているか教えてください。(1つ)



2. 調査結果のまとめ

アンケート調査結果の集計については、次に示した単純集計のほかに、年齢別の（18-19歳・20-29歳・30-39歳・40-49歳・50-59歳・60-64歳・65-69歳・70-74歳・75歳以上）及び地域別（鎌倉地域・腰越地域・深沢地域・大船地域・玉縄地域）にクロス集計を行いました。

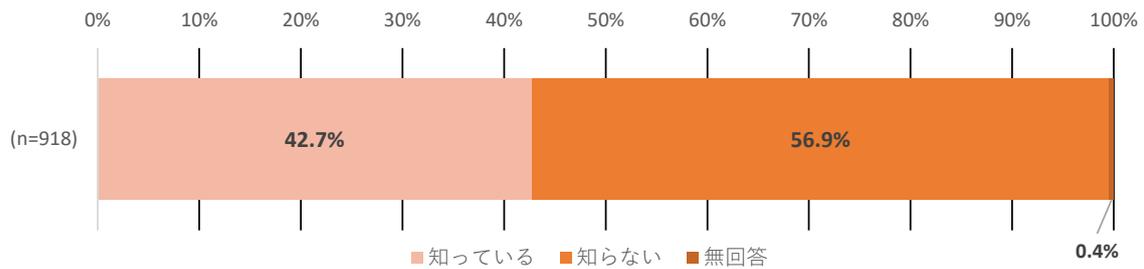
■ 平和・人権意識

「鎌倉市民憲章」「平和都市宣言」の認知度は65歳以上の世代が高く、10代～40代は半数以上が「知らない」と回答しました。

性別による固定的な役割分担は若い世代を中心に否定的な回答が多い一方、鎌倉市が多文化を尊重する社会になっているかどうかについては、特段年齢による回答の傾向はみられませんでした。

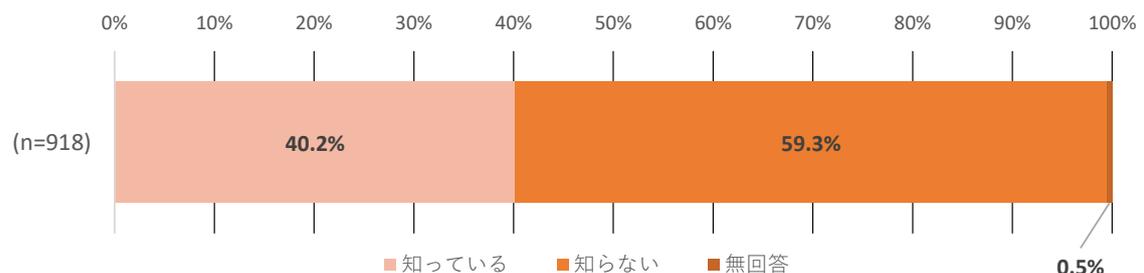
① 「鎌倉市民憲章」の認知

「あなたは、鎌倉市に「鎌倉市民憲章」があることを知っていますか。」



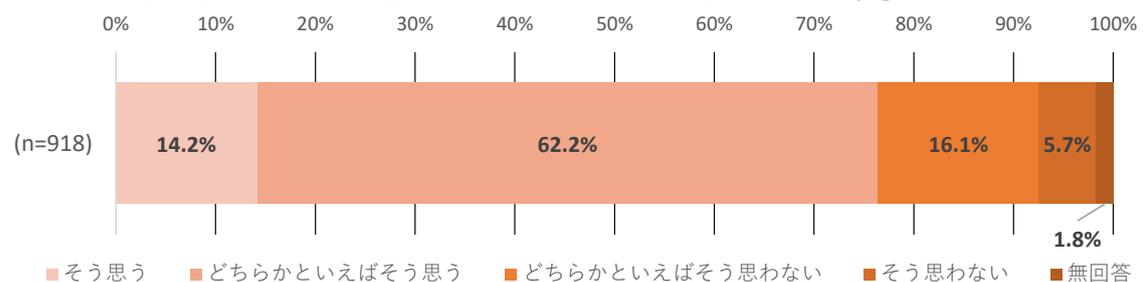
② 「平和都市宣言」の認知

「あなたは、鎌倉市に「平和都市宣言」があることを知っていますか。」

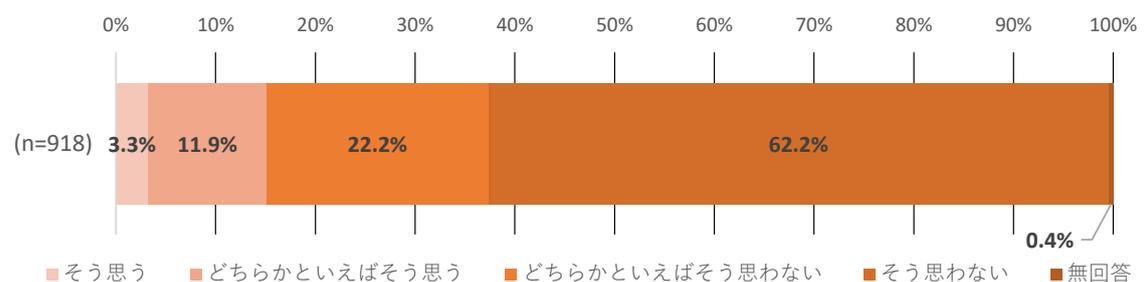


③ 人権が尊重される社会になっているか

「あなたは、鎌倉市は人権が尊重される社会となっていると思いますか。」

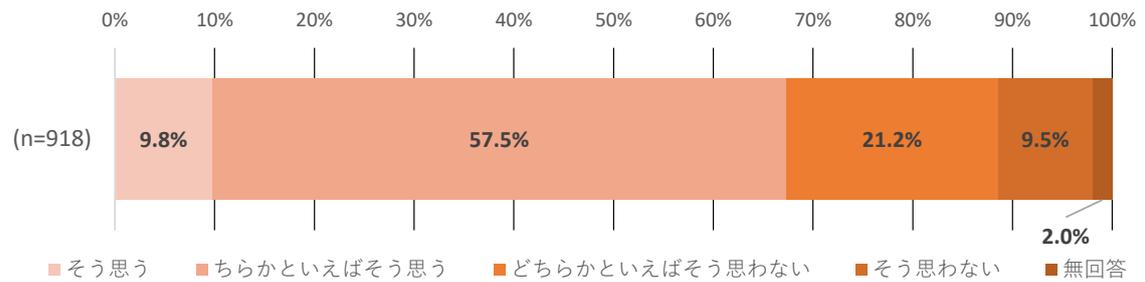


「あなたは、「男性は外で仕事、女性は家で家事や育児」といった、性別による固定的な役割分担があるべきだと思いますか。」



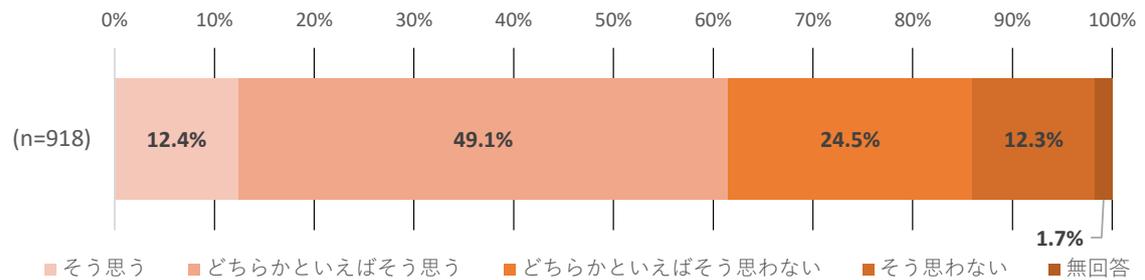
④多文化が尊重されている社会になっているか

鎌倉市は、異なる国籍や民族の人々がお互いの文化を認め、相互に交流、協力しあえるまちになっていると思いますか。」



⑤外国人の住みやすさ

「鎌倉市は、外国人の方が住みやすいまちだと思いますか。」

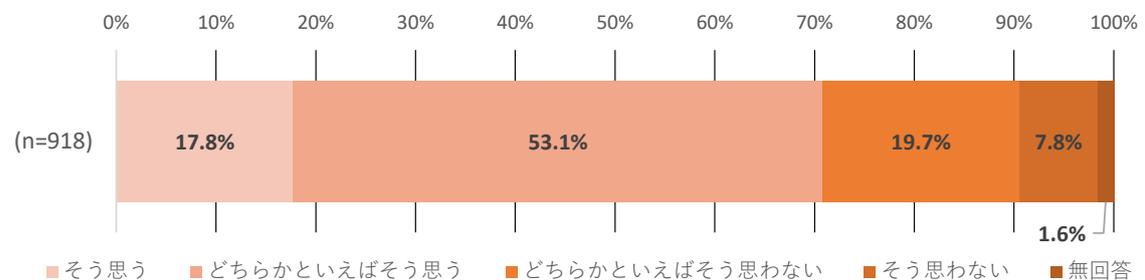


■文化

特段年齢による回答の傾向はみられませんでした。

①文化活動は活発か

「鎌倉市は、文化活動が活発であり、新たな文化の創造・発信（（例）文化活動への参加と鑑賞の機会の提供など）を行っているまちだと思いますか。」

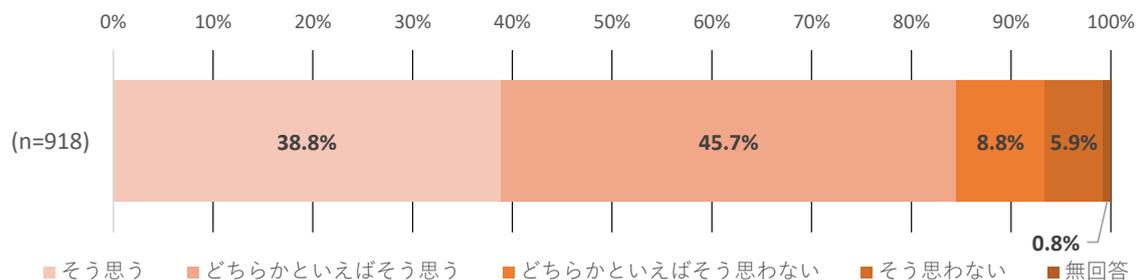


■みどり・都市景観

自然・自然的景観の保全、歴史的遺産・伝統文化の保存がされているかという問いに対して、特段年齢による回答の傾向はみられませんでした。

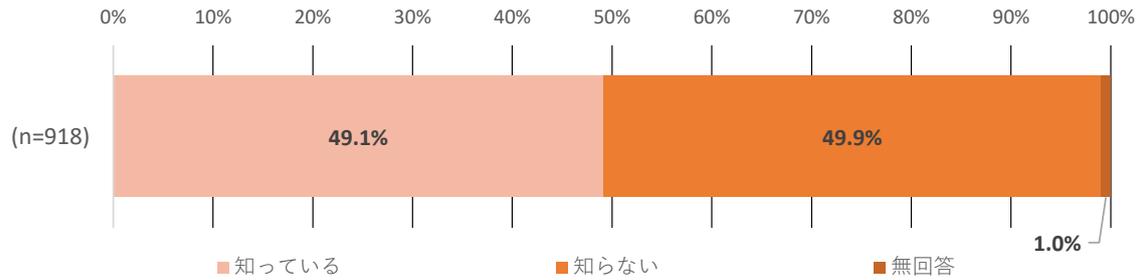
①自然・自然的景観は保全されているか

「鎌倉市は、豊かな自然や自然的景観を大切に保全するとともに、市民がみどりとふれあえるまちだと思いますか。」



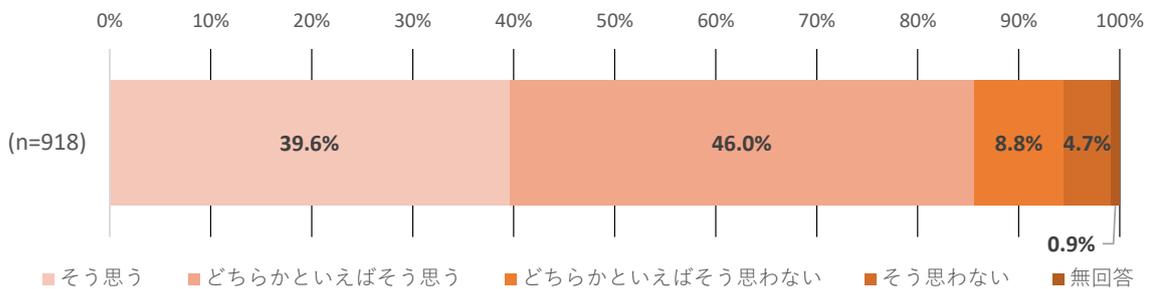
②屋外広告物への制限認知

「あなたは、鎌倉市では屋外広告物に一定の制限があることを知っていますか。」



③歴史的遺産・伝統文化は保存・継承されているか

「鎌倉市は、「豊かな歴史的遺産が大切に保存され、伝統的な文化が保存・継承されているまち」だと思いますか。」



■生活環境

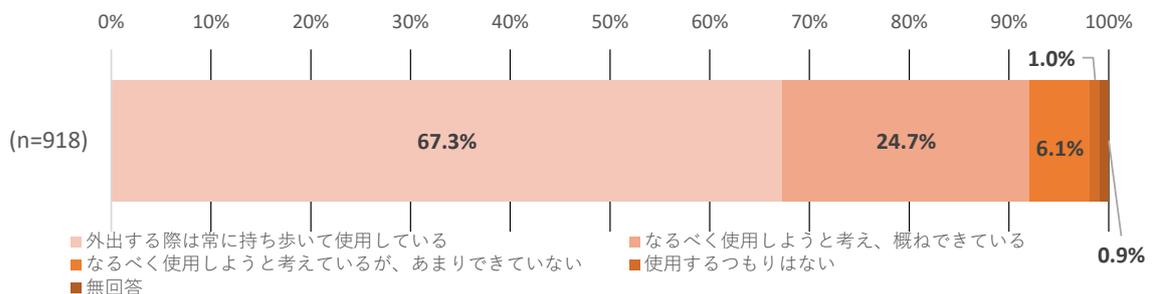
マイバッグの使用は特段年齢による回答の傾向はみられませんでした。マイボトルの使用については、10代及び50～60代において高い傾向がみられました。

まちは綺麗で清潔に保たれているかという問いに対しては、地域別にみると鎌倉地域、大船地域でやや肯定的な回答割合が低い傾向でした。

省エネを意識した電力使用を行っているかという問いに対しては、全世代で8割を超えて行っているという回答でした。

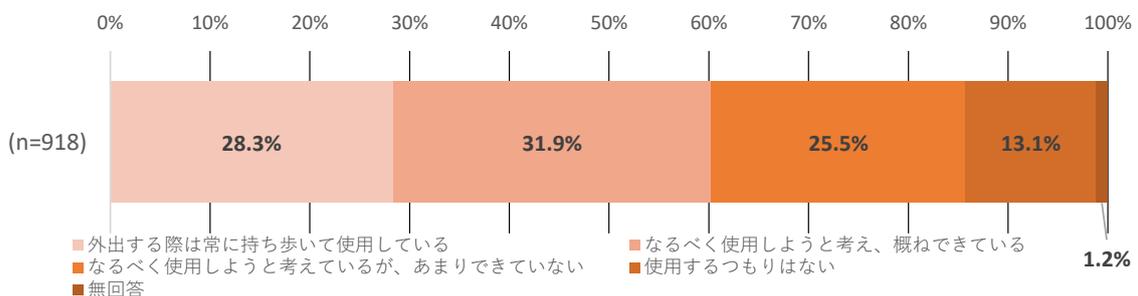
①マイバッグを使用しているか

「あなたは、日頃からレジ袋の代わりにマイバッグを使用していますか。」



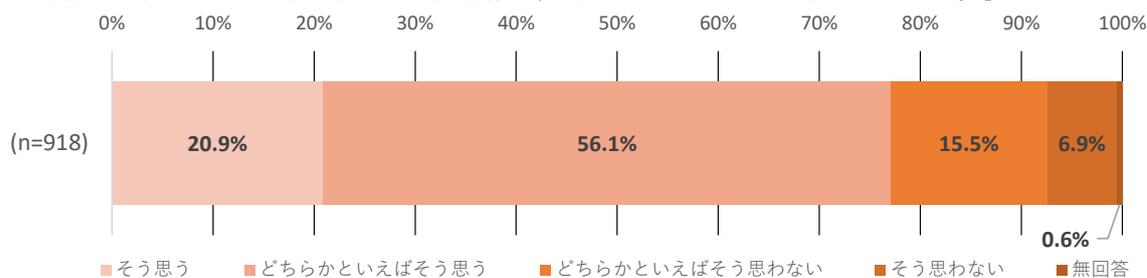
②マイボトルを使用しているか

「あなたは、日頃からマイボトルを使用していますか。」



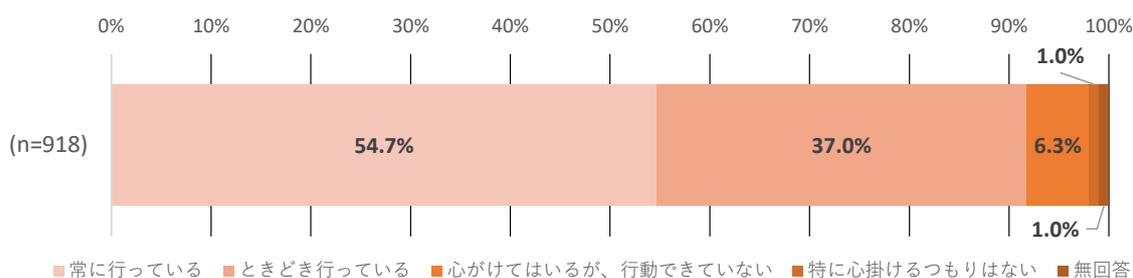
③まちは清潔で快適に保たれているか

「鎌倉市は、ゴミの散乱などがなく、清潔・快適に保たれたまちだと思いますか。」



④省エネを意識した電力使用をおこなっているか

「あなたは、照明をこまめに消したり、電球をLED電球に変えたりするなど、省エネを意識した電力使用を行っていますか。」



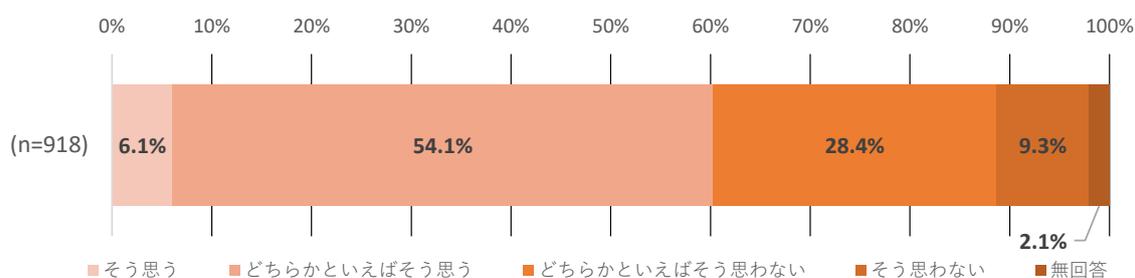
■健康福祉・子育て環境

身近なところに相談できる人や相談できる場所があるかという問いに対しては、若年層がやや肯定的な回答割合が高い傾向でした。

地域で子育てが支えられているかという問いに対しては、10代が一番否定的な回答割合が高い結果となりました。

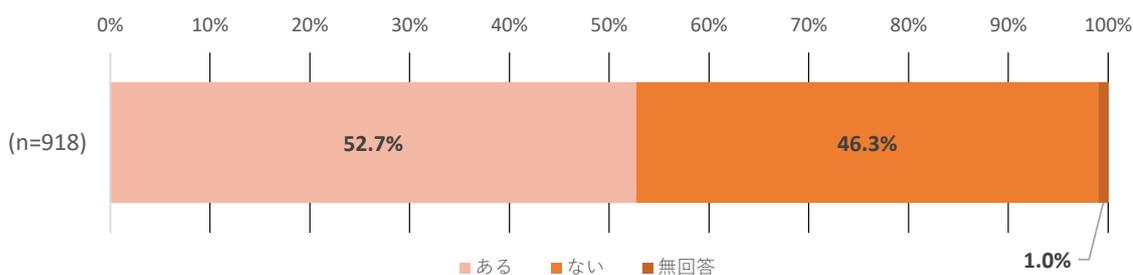
①共生社会は実現しているか

「鎌倉市は、市民一人ひとりがお互いを尊重し、支え合い、社会に参画することのできる「共生社会^{※1}」が実現しているまちだと思いますか。」

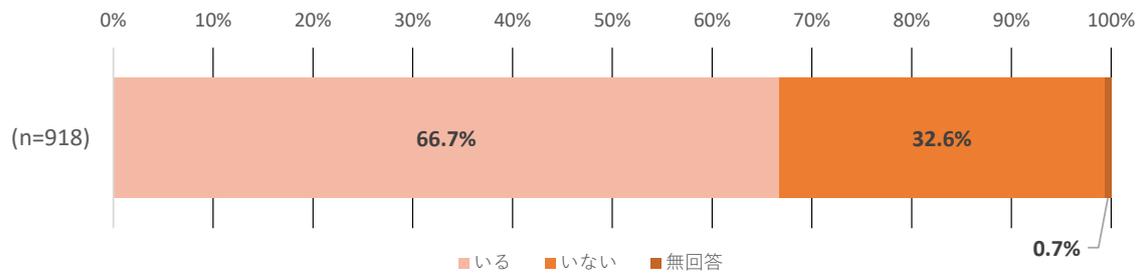


②相談できる人や相談できる場所があるか

「あなたは、ご自身や周囲の生活課題等について、身近なところに相談できる人や相談できる場所がありますか。」

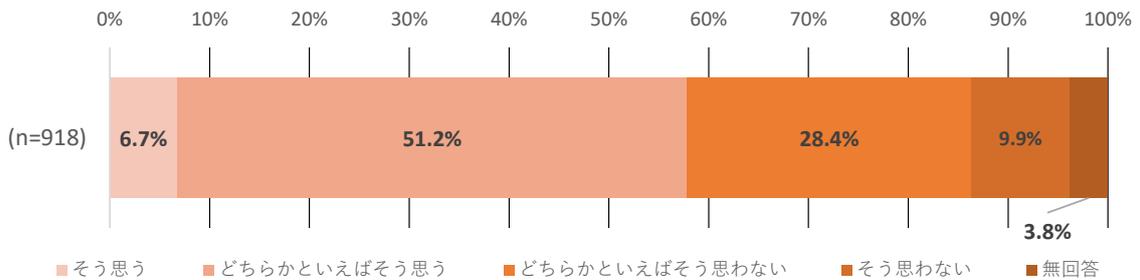


③かかりつけ医がいるか



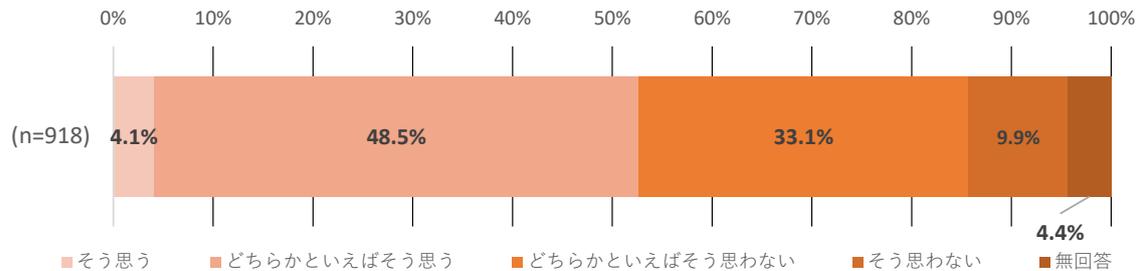
④地域で子育てが支えられているか

「鎌倉市は、地域全体で子育てが支えられているまちだと思いますか。」



⑤子育てに関する情報が得やすいか

「鎌倉市は、子育てに関する情報が得やすいまちだと思いますか。」

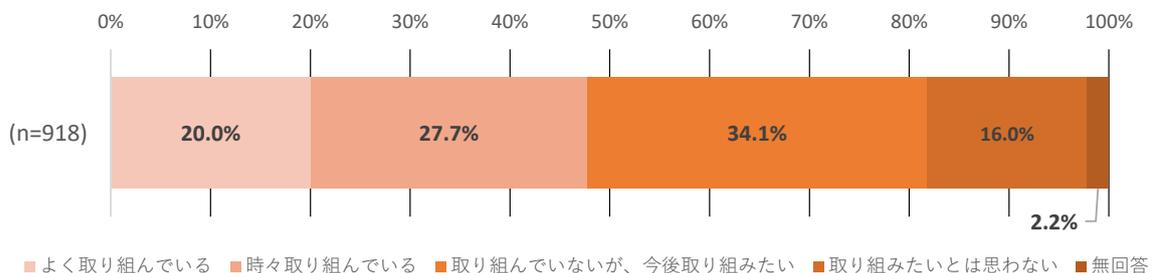


■生涯学習・スポーツへの取組

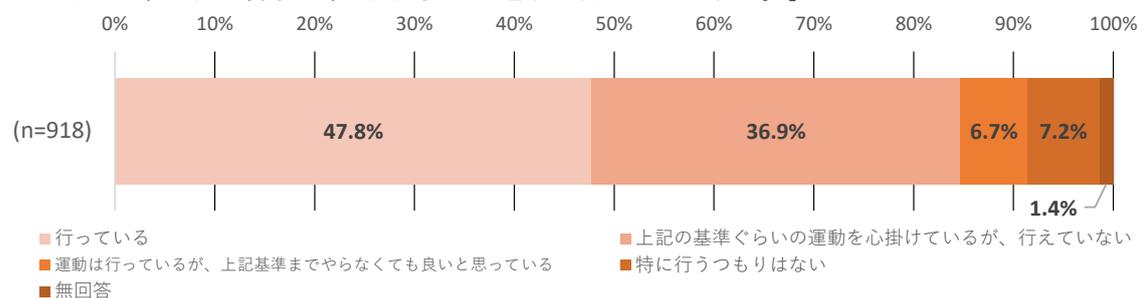
生涯学習活動へは、年齢が若い世代ほど積極的に参加する傾向がみられました。
定期的な運動に関しては、年齢の高い世代ほど取り組んでいることが分かりました。

①生涯学習活動へ参加しているか

「あなたは、社会教育、文化活動、スポーツ活動、レクリエーション活動、ボランティア活動、企業内教育、趣味など、何らかの生涯学習^{※2}に取り組んでいますか。」



「あなたは、1回30分以上、週1回以上の運動を行っていますか。」

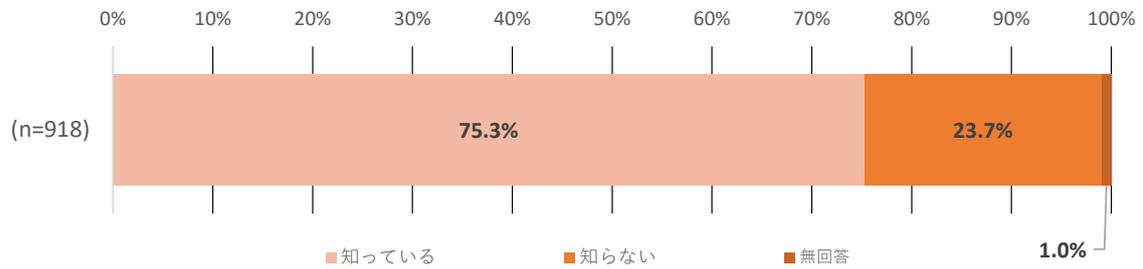


■防災・減災・危機管理

地域の自然災害リスクの認知度は、全世代において高い回答割合でしたが、危機管理に対する取組に関する問いに対しては、取組がされていないと感じている世代が多い結果となりました。

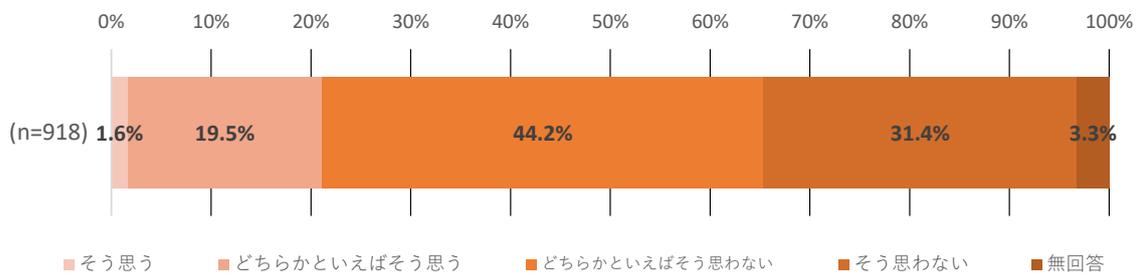
①地域の自然災害リスクの認知

「あなたは、お住まいの地域の自然災害リスクを知っていますか。」



②危機に対する取組は適正に行われているか

「鎌倉市は、武力攻撃事態やテロなど、あらゆる危機に対する取組が適切にされているまちだと思いますか。」



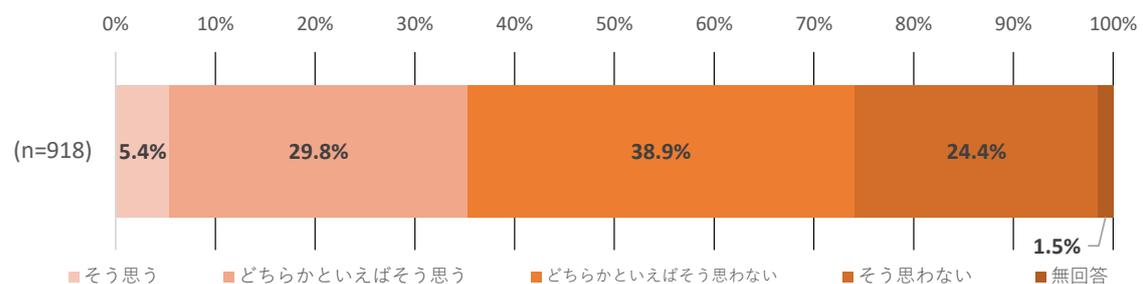
■市街地・交通環境

生活しやすい市街地が形成されているか、快適な交通環境が確立されているかという問いに対しては、概ね高い年齢の世代ほど、肯定的な回答割合が低くなりました。

交通環境に対する問いに対しては、全世代的でスムーズな交通環境、または安全な歩行空間が確保されていないと感じている回答割合が高い結果となりました。

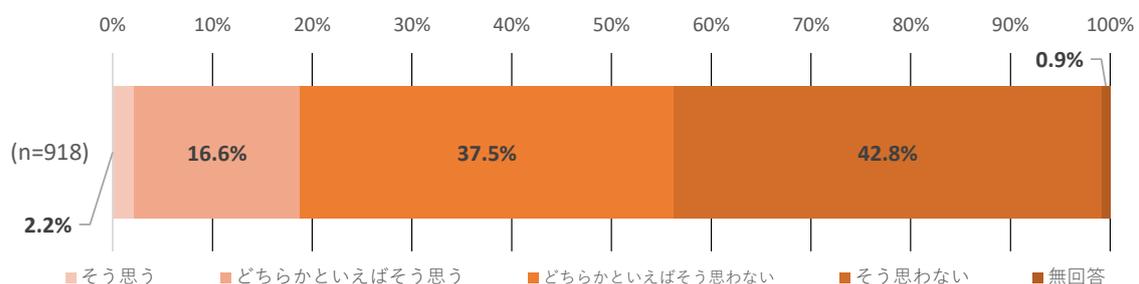
①生活しやすい市街地が形成されているか

「鎌倉市は、まちづくりが計画的に進められ、生活しやすい市街地が形成されているまちだと思いますか。」



②快適な交通環境が確保されているか

「鎌倉市は、幹線道路ではスムーズな交通環境が、また、生活道路では安全な歩行空間が、確保されているまちだと思いますか。」



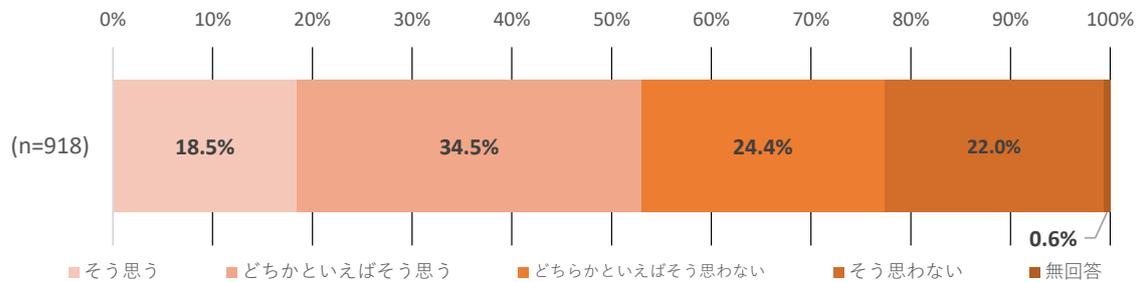
■産業・労働環境・消費生活環境

希望している職場に就労しているかという問いに対して、65歳未満の年齢は肯定的な回答割合が高い結果となりました。

経済・社会・環境に配慮した消費行動を行っているかという問いに対しては、若年層の肯定的な回答割合が高い結果となりました。

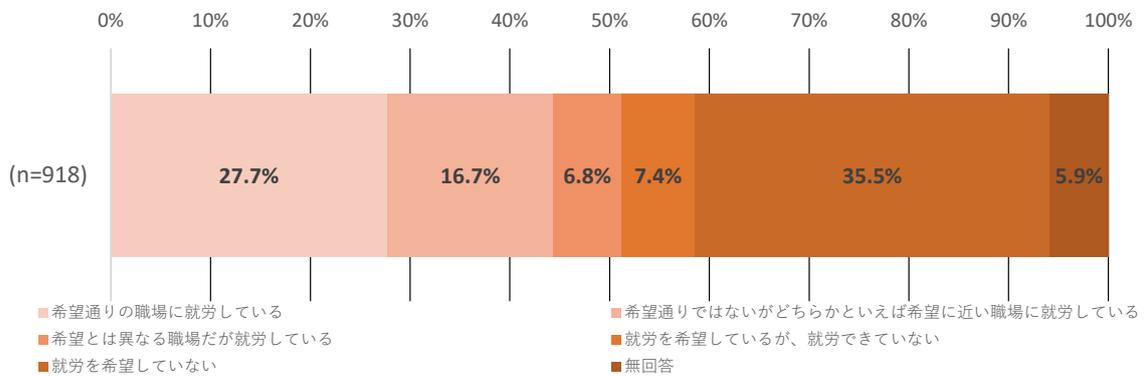
①商店街は魅力的か

「あなたのお住まいの近くの商店街では、あなたにとって便利で魅力的な買い物ができると思いますか。」



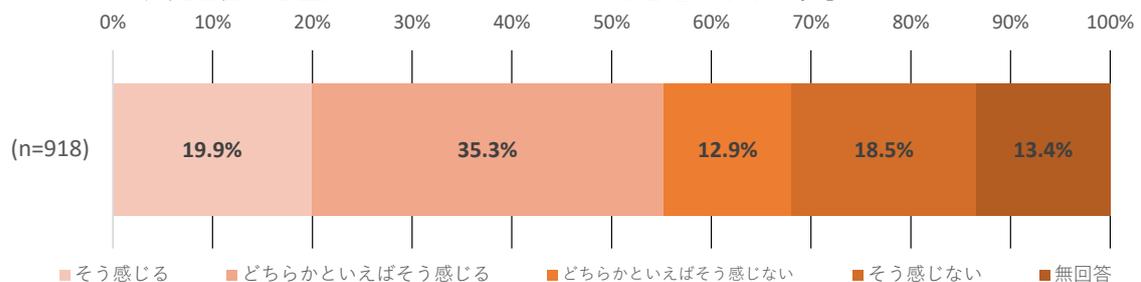
②希望する職場に就労しているか

「あなたは、現在希望する職場に就労していますか。」



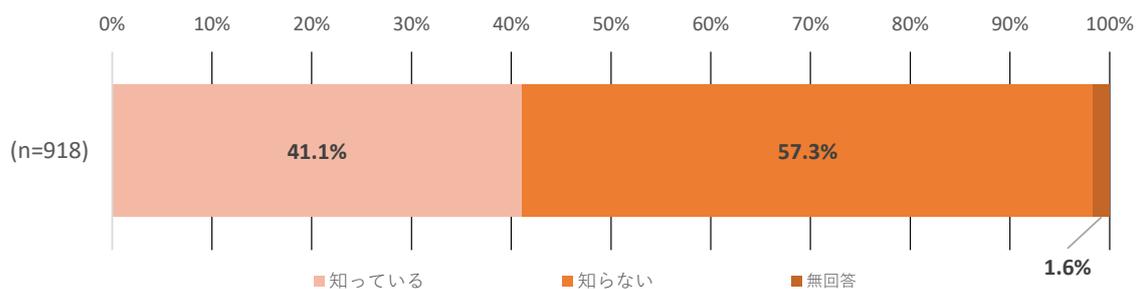
③仕事と生活のバランスは取れているか

「あなたは、現在仕事と生活のバランスが取れていると感じますか。」



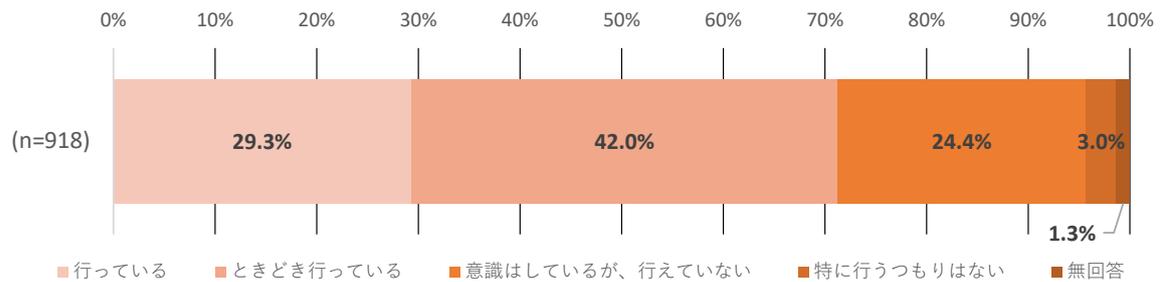
④サステナブルラベルを知っているか

「あなたは、有機農産物、フェアトレードなど、持続可能な原材料調達や環境・社会的配慮につながる認証ラベルであるサステナブルラベルを知っていますか。」



⑤経済・社会・環境に配慮した消費行動を行っているか

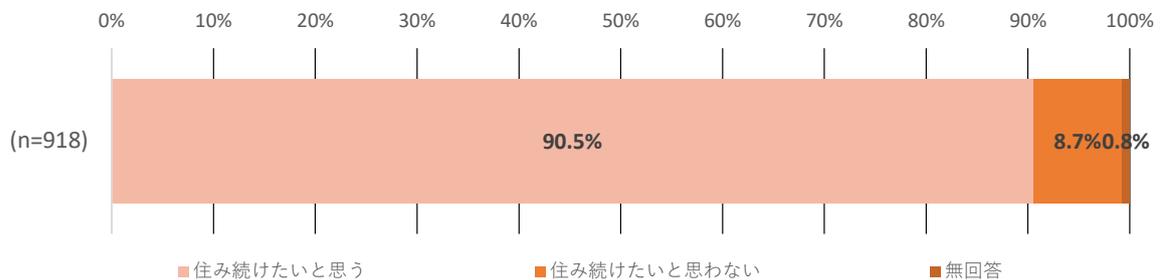
「あなたは、「食品ロス^{※3}」「省エネ」「エシカル消費^{※4}」といった問題に関心を持ち、経済・社会・環境に配慮した消費行動を行っていますか。



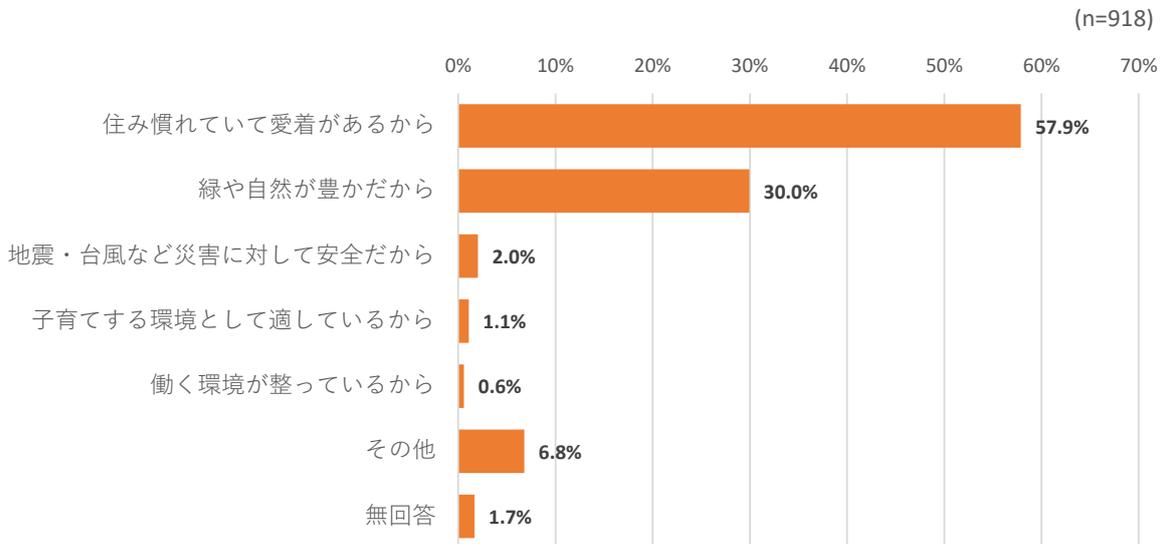
■今後の居留意向

①これからも鎌倉市に住み続けたいか

「あなたは、これからも鎌倉市に住み続けたいと思いますか。」



②その理由



【その他】※「その他」には、以下のような回答がみられました。（一部表現は修正）

- ・鎌倉を誇りに思うから
- ・住宅街と工場等が離れているので静かで落ち着いた環境が形成されているから
- ・持家があるから
- ・文化、経済的にハイレベルな人が多くて面白いから
- ・周囲の人がこれほどマナーのよい地域はないため
- ・都心からも近く、生活活動圏がコンパクトな街となっており大きな不便を感じないため
- ・治安が良いから
- ・親が近くに住んでいるから
- ・生活するうえで環境、行動、地域連携、生活必需品の調達、交通、風土に適しているから
- ・海が近いから
- ・交通が程よい